

進路講演会を振り返る（第1学年）

6月21日（木）5・6限

午後1時30分～午後2時 働くことの意義

午後2時10分～午後2時50分 職業紹介（司法書士）

自分の好きな、又は興味のある仕事に就職するという事は、幸せであり、社会にでも向上する意欲がわきやすいものだと思った。好きな職に就くことができれば、もっといろいろなことを知りたいと思うことができるはずだ。先生の講演を聴き、いろいろなことに興味をもつことは素晴らしいことだと感じた。資格などをもつことの強さを知り、一日一日の授業を大切に学びたいと改めて思うことができた。

とてもおもしろくて、わかりやすい内容だった。知らなかったことをたくさんお話いただいたので、自分の視野が広がった気がする。講師の方が話していたように、授業を今後も集中して聞こうと思った。

高校生になったいま、自分の可能性を広げよう。授業中、集中するだけで余裕が生まれる。仕事はつらいだけではない。資格をもっていることで就職なども有利になる。何事も続けることが大切。高校生の間に少しでも多くの資格をとって、また部活動もがんばって、高校生活も楽しみたいと思った。

司法書士とはどのような職業か。就職を成功させるためには資格をもっていたほうがよいこと。高校生のいま、大切なことは授業にきちんと取り組むこと、何でもいから興味があることをする。自分がやりたい仕事に就くために、どういう道のりで、どんなことが必要であるか、考えたいと思った。

資格をどんどんとっていきたいと思った。私がとってみたい資格は、実用ボールペン字である。字がきれいだったら人柄もよくなると思ったからである。靴を揃える人は机がきれい。机がきれいな人は明日の用意ができる。私はそんな風になりたい。

配ってくれたプリントをみて、人間らしいと言うか、あたたかくて幸せそうな人生を歩いている方だなと思った。「くつをそろえられる人は机をきれいにできる人、机をきれいに・・・」の話は、私にとってとてもわかりやすく、おもしろい話だった。くつを、机を等は、現実的でいいと思った。だけど、よく考えたら、当たり前のことなんだと感じた。

講演の内容。職についての話だった。世の中には数えきれいほどの職業がある。その職業、仕事をしていく中での喜びや苦しみを味わう大切さ。私は、保育関係の仕事に就きたいと思っている。保育の仕事をして、子どもの笑顔をみる喜びを味わいたい。子どもにたくさんのことを教えたい。この大きな夢に近づくためにも、まずは基本的な習慣から見直していきたいと思う。

将来やりたい仕事は、成長しながら変わることがある。そんな中で、今の自分がやるべきことは、いろいろな面で可能性を広げること。学校では授業をきちんと受けること、生活面では、くつを揃えることを心がければ、進路はうまくいくと思う。私は将来やりたい仕事は決まっているけど、これから先、変わることがあるかも知れないので、いろいろなことに挑戦したい。

配付されたプリントをもとに、雑談を交えながら話していただいたので、楽しみながら将来について考えることができた。確かに資格はとても大切だと思うので、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思う。また、いつでも夢中になれるものをみつけていきたい。

就職するのに、そんなに苦労したり落ちたりする人がいるんだと思った。就職氷河期と呼ばれるくらい、大学を出ても就職できない人がいる。少し不安になってくる。今後、将来のことについて、よりいっそう調べていかないといけないと思った。

講師の先生の人生の話をもとに、仕事とは何かの内容だった。私も、このような充実した人生を送りたいと思った。そのためには、やはり、たくさん勉強をする必要があると感じた。そして、自分の就きたい仕事をしたいと思う。また、学生のうちにたくさんの資格をとっておく必要があると改めて感じた。人生を送っていく中で、勉強は一生関わっていくものだと気づけたので、今後がんばっていきたい。